



アーティスト、川村亘平齋と子どもたちによる
オリジナル影絵作品 パフォーマンス上演のご案内

ふたばてんぐ
二葉天狗と
かいじゅう
おおぐい海獣

2018. 3. 24. SAT

17:30 - 19:30 [開場 17:00]

東京おかつぱちゃんハウス

(東京都練馬区上石神井)

入場無料 / ご招待制



川村亘平齋

アジアや日本各地で活躍する影絵師川村亘平齋と二葉むさしが丘学園の子どもたちによる、一夜限りの影絵パフォーマンス・コラボレーション



SPECIAL GUEST

AFRA (ヒューマン・ビートボクサー)



2月に二葉むさしが丘で行われたワークショップで制作した子どもたちの影絵人形 Photo by Yukiko Koshima

開催趣旨

NPO 法人アーツイニシアティブトウキョウと日本財団による、個性豊かな子どもたちとアーティスト、サポーターを繋ぐ「dear Me / ディアミー」プロジェクトでは、3月24日(土)に影絵師/音楽家の川村亘平齋さんと二葉むさしが丘学園の子どもたちによるオリジナル影絵作品のパフォーマンス上演「二葉天狗とおおぐい海獣」を行います。

さまざまな環境にある子どもたちと色々な価値観をもつ人々が集い、アートや表現を通じた学びと出会いをつくる dear Me は、これまで AIT が実施してきた現代アートの教育プログラム MAD やアーティスト・イン・レジデンス、展覧会を行ってきた経験や実績を元に表現者、子どもたち、そして大人のサポーターを繋ぐ新たなプロジェクトです。2017年より、国内外のアーティストによるワークショップや、美術館へのお出かけ鑑賞プログラム、日米の児童福祉の専門家とアーティストを招いたラウンドテーブルなどを開催してきました。

今回、インドネシアの伝統芸能である影絵とガムラン音楽を用いて国内外で広く活動する影絵師川村亘平齋さんをゲストに招き、2018年2月に児童養護施設二葉むさしが丘学園(小平市)の約10名の子どもたちとオリジナル影絵を制作するワークショップを2週に渡り行いました。二葉むさしが丘学園は、さまざまな理由で家庭で暮らすことが困難な概ね2歳から18歳の子どもたちが生活しています。施設では子どもの日々の生活のケアに加え、家庭復帰への支援や子どもたちが社会へ巣立っていくための取り組み、地域との繋がり場の作りなどを行っています。なかでも文化活動や課外活動に力を入れており、ダンスや音楽を取り入れたクラスや、地域の農家との野菜づくり、被災地へのスタディーツアーなども積極的に取り入れています。今回の影絵ワークショップも、施設が取り組む外部団体との連携プロジェクトで実現した一つです。

2日間のワークショップで子どもたちは、アーティストとの影絵遊びをとおして光と影による表現の可能性に触れ、人形作りではそれぞれの発想を形にしていきました。子どもたちは間近で見る川村さんのパフォーマンスに圧倒されながらも、自らスクリーンの後ろに立ち、キャラクターを通してイメージを膨らませていきました。

今回の影絵芝居のアイデアのもと、インドネシアの古典影絵【ワヤン・クリット】で使われる物語【マハーバーラタ】。インド伝来の古典叙事詩【マハーバーラタ】は5人の正義の王子と、それを快く思わない100人の悪の王子達との間で繰り広げられる大戦争の物語群です。1話完結で語られるそれぞれの物語には、スーパーヒーローや巨大な魔神、怪物が登場し大人から子どもまで楽しめるエンターテインメントになっています。影絵を見る子どもたちは、自分たちを物語に登場するヒーローと重ね合わせることで、夢や希望、その奥に流れる深い哲学と出会うこととなります。この【マハーバーラタ】の構造をもとに、設定を【小平】に置き換えて子どもたちと影絵芝居を上演します。

当日は、ワークショップに参加した子どもたちも交え即興的な演出も楽しみながら一夜限りのパフォーマンスを披露します。スペシャルゲストにヒューマン・ビートボクサーのAFRAさんも参加して、影絵に声と身体からうみだされるリズムを加えます。

この機会に子どもたちとアーティストのコラボレーションを是非ご覧いただきたく、ご案内申し上げます。



参加アーティスト

川村亘平齋（影絵師／音楽家） / スペシャルゲスト：AFRA（ヒューマン・ビートボックス）

イベント情報

日時：2018年3月24日(土) 17:30-19:30（開場 17:00）

会場：おかつぱちゃんハウス (<http://okappachan.com>) 東京都練馬区上石神井 3-30-8

アクセス：西武新宿線 上石神井駅 北口より徒歩6分

※駐車場のご用意はありません。お車をご利用の際は近隣のコインパーキングをご利用ください。

入場料：無料（ドリンクとフードは有料）

主催：特定非営利活動法人アーツイニシアティヴトウキョウ [AIT/エイト]

共催：日本財団

協力：二葉むさしが丘学園

参加作家プロフィール

川村亘平齋（かわむらこうへいさい）

平成28年度第27回五島記念文化賞美術新人賞受賞(2016)。

インドネシア共和国・バリ島にのべ2年間滞在し、古典影絵【ワヤン・クリット】と伝統打楽器【ガムラン】を学ぶ(2003・2017)。日本各地に赴き土地の人たちとの交流やワークショップを通じて、土地に残る物語を影絵作品として再生させ、現代日本と伝統的な感性をつなぐ新たな「芸能」のカタチを模索する。近年の活動として、「地蔵について」(2014/山形ビエンナーレ)、「ヘビウヘビウ」(2015/福島県)、「BAM BOO NEST」(2016/山形ビエンナーレ)などを製作。そのほか、シリーズ企画「ボクと影絵と音楽」(2009～)【じ め ん】(鮎屋法水作 2011/フェスティバルトーキョー)、「サントリー美術館影絵WS」(2014/六本木アートナイト)ほかを制作。ソロユニット「TAIKUH JIKANG 滞空時間」では東南アジアツアーや細野晴臣氏のイベントに出演。アジアを中心に多くの国々で、影絵と音楽のパフォーマンスを発表し反響を呼んでいる。<http://taikuhjikang.com/kawamurakoheisai/>

AFRA（あふら）

ヒューマン・ビートボックス。1996年にニューヨークのセントラルパークで見たThe RootsのビートボックスRahzel（ラゼル）のパフォーマンスに衝撃を受け、独学でビートボックスを始める。高校卒業後NYへ単身渡米。映画「Scratch」出演や、唯一の日本人として出演したビートボックス・ドキュメンタリーフィルム「Breath Control」などを通して、国内外のコアなファンに強烈に存在をアピール。2003年に日本人初のヒューマン・ビートボックスアルバムとなる1stアルバム『Always Fresh Rhythm Attack』をリリース。海外の活動も広く行い、スペイン、オーストラリア、ノルウェーほか世界各地の音楽フェスティバルなどに出演。2018年1月、Netflixで全世界配信されているアニメーション番組「DEVILMAN crybaby」（原作：永井豪、監督：湯浅政明）にビートボックスのキャラクターと声で出演している。

dear Me プロジェクトについて

NPO 法人アーツイニシアティヴトウキョウ [AIT/エイト] と日本財団による、子どもとアーティストが出会い、共に表現をする機会の創出や、アート／表現を通じた自由な学びと未知のものに出会う場づくりを通して社会を捉え直すプロジェクト。子どもの福祉施設ほか、さまざまな環境下にある子どもや若者、大人の伴走者に向けた、対話型の鑑賞ワークショップや国内外のアーティストによるワークショップを実施するほか、共に学ぶレクチャーやシンポジウム、イベントを企画。現代アートの多様な表現や対話をつうじて様々な価値観に触れ、世界のひろがりや他者との繋がりを発見するきっかけを創ります。<http://dearme.a-i-t.net/>

NPO 法人アーツイニシアティヴトウキョウ [AIT/エイト] について

現代アートと視覚文化を考えるための場作りを目的として、2001年に設立したNPO 団体（2002年法人化）。個人や企業、財団あるいは行政と連携しながら、現代アートの複雑さや多様さ、驚きや楽しみを伝え、それらの背景にある文化について話し合う場を、さまざまなプログラムをとおして創り出しています。<http://www.a-i-t.net/ja/>

CONTACT

藤井・清水・青木

特定非営利活動法人アーツイニシアティヴトウキョウ [AIT/エイト]

〒150-0033 東京都渋谷区猿樂町 30-8 ツインビル代官山 B403

03-5489-7277 F03-3780-0266 Email dearme@a-i-t.net URL <http://dearme.a-i-t.net>